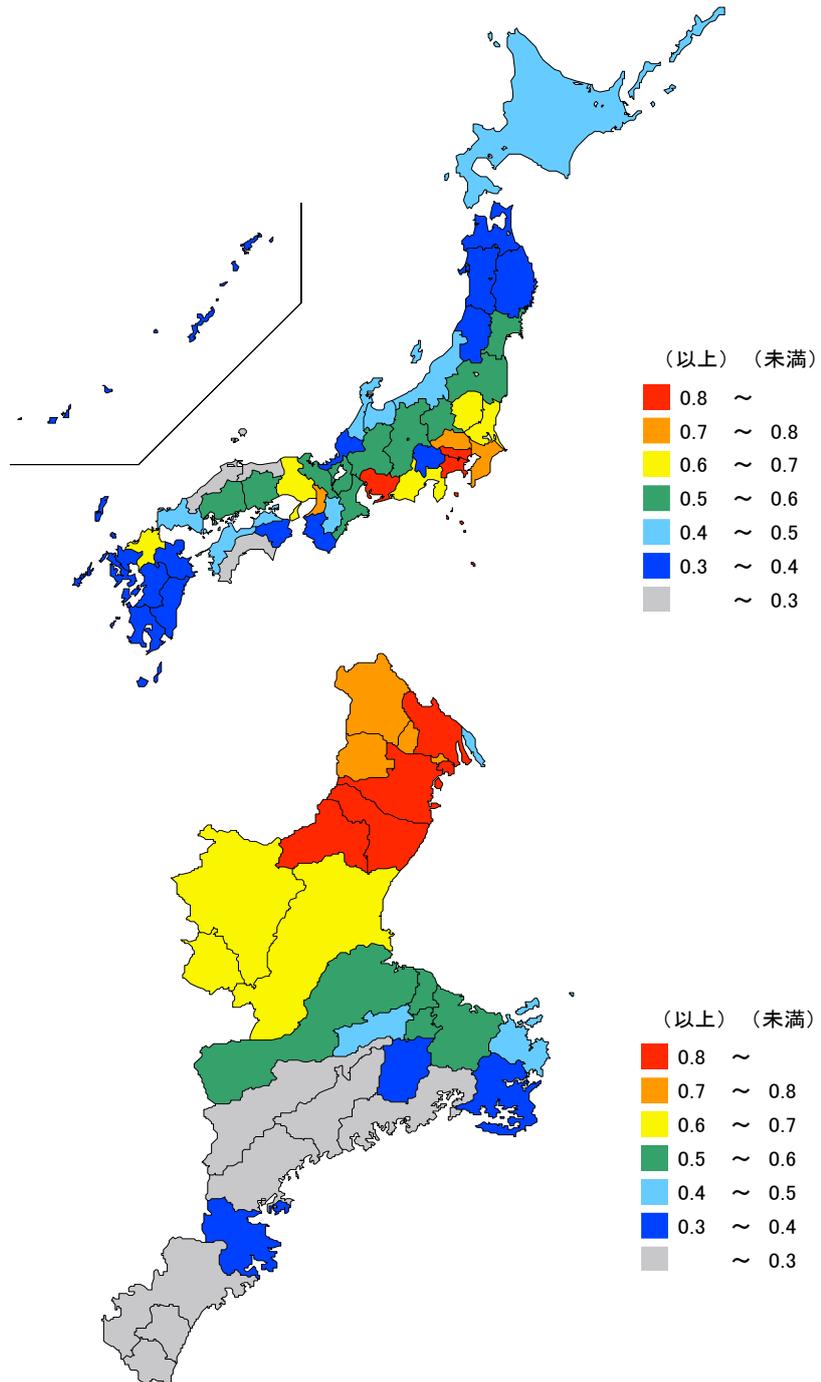


● 財政力指数

令和5年度

都道府県	値	順位
平均	0.491	
東京都	1.101	1
愛知県	0.862	2
神奈川県	0.839	3
千葉県	0.737	4
大阪府	0.732	5
三重県	0.558	15
徳島県	0.315	43
秋田県	0.312	44
鳥取県	0.268	45
高知県	0.261	46
島根県	0.255	47

市町	値	順位
川越町	1.20	1
四日市市	1.14	2
鈴鹿市	0.86	3
亀山市	0.82	4
桑名市	0.80	5
いなべ市	0.76	6
菰野町	0.74	7
東員町	0.70	8
朝日町	0.70	8
津市	0.67	10
名張市	0.63	11
伊賀市	0.60	12
松阪市	0.59	13
伊勢市	0.57	14
玉城町	0.54	15
明和町	0.53	16
多気町	0.49	17
木曾岬町	0.47	18
鳥羽市	0.40	19
志摩市	0.39	20
尾鷲市	0.34	21
度会町	0.34	21
紀宝町	0.28	23
紀北町	0.27	24
御浜町	0.27	24
熊野市	0.25	26
大台町	0.24	27
南伊勢町	0.20	28
大紀町	0.19	29
市町平均	0.55	



令和5年度（過去3年間の平均値）の三重県の財政力指数は0.558で、全国順位は15位となっています。

県内市町の財政力指数は、川越町と四日市市が1を超えており、鈴鹿市、亀山市が続いています。一方、県南部地域の市町は低い傾向にあります。

【資料出所】 全国：総務省「地方公共団体の主要財政指標一覧」

三重県市町：三重県地域連携・交通部市町行財政課「地方財政状況調査に係る各種財政指標」

【備考】 財政力指数とは、地方公共団体の財政力を表す指標で、基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た数値の過去3年間の平均値である。この値が高いほど財源に余裕があるものとされる。

都道府県の平均及び市町平均は、単純平均による。

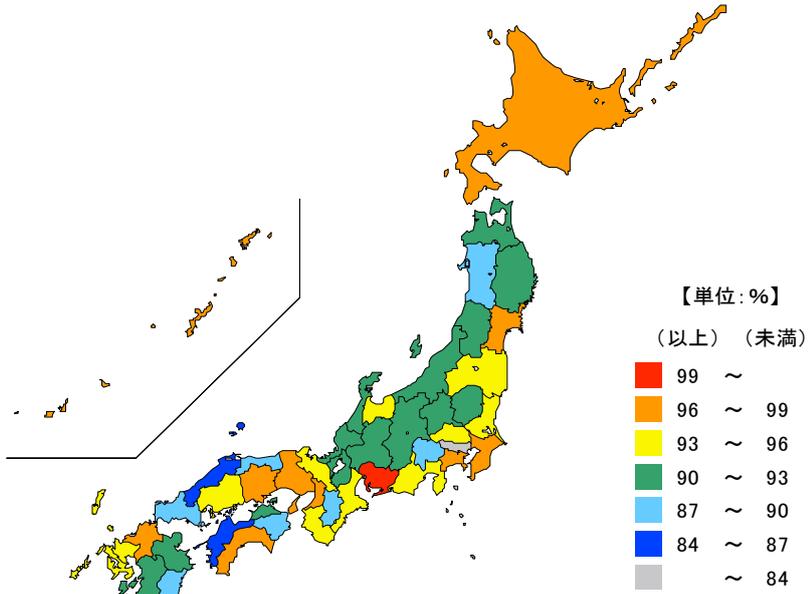
※基準財政収入額及び基準財政需要額は、地方交付税の算定に用いられ、それぞれ各地方公共団体の財政力、財政需要を合理的に測定するために算定される額。

● 経常収支比率

令和5年度

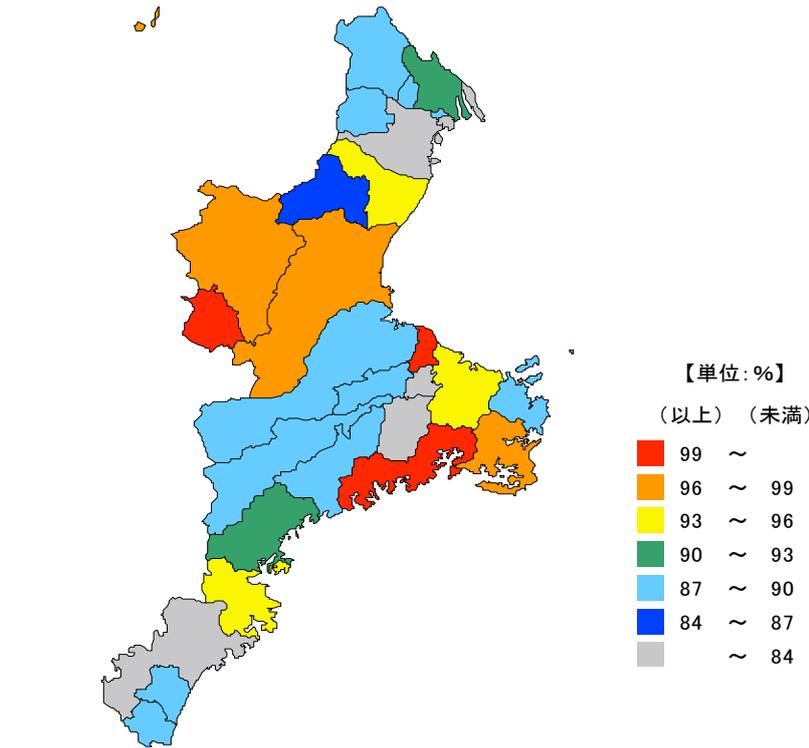
単位：％

都道府県	値	順位
平均	92.5	
愛知県	99.8	1
北海道	97.8	2
大阪府	97.4	3
兵庫県	97.3	4
福岡県	97.3	4
三重県	93.4	20
奈良県	88.6	43
鳥取県	87.5	44
島根県	86.4	45
愛媛県	86.0	46
東京都	81.3	47



単位：％

市町	値	順位
明和町	101.4	1
名張市	100.0	2
南伊勢町	99.1	3
津市	98.6	4
志摩市	96.8	5
伊賀市	96.6	6
伊勢市	94.8	7
尾鷲市	94.3	8
鈴鹿市	93.4	9
桑名市	92.6	10
紀北町	91.4	11
紀宝町	89.8	12
いなべ市	89.3	13
大台町	88.9	14
御浜町	88.8	15
松阪市	88.7	16
菟野町	88.4	17
多気町	88.2	18
朝日町	87.8	19
鳥羽市	87.5	20
東員町	87.1	21
大紀町	87.1	21
亀山市	86.8	23
熊野市	81.9	24
四日市市	80.7	25
玉城町	80.5	26
川越町	76.3	27
木曾岬町	73.3	28
度会町	73.2	29
市町平均	90.8	



令和5年度の三重県の経常収支比率は93.4%で、全国順位は20位となっています。

県内市町の経常収支比率は、明和町、名張市、南伊勢町の順に高くなっています。一方、度会町、木曾岬町、川越町は80%以下と低くなっています。

【資料出所】 全国：総務省「地方公共団体の主要財政指標一覧」

三重県市町：三重県地域連携・交通部市町行財政課「地方財政状況調査に係る各種財政指標」

【備考】 経常収支比率とは、地方税、地方交付税のように用途が特定されておらず、毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)のうち、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常経費)に充当されたものが占める割合。

財政構造の弾力性を判断する指標であり、比率が低いほど弾力性が大きいことを示す。

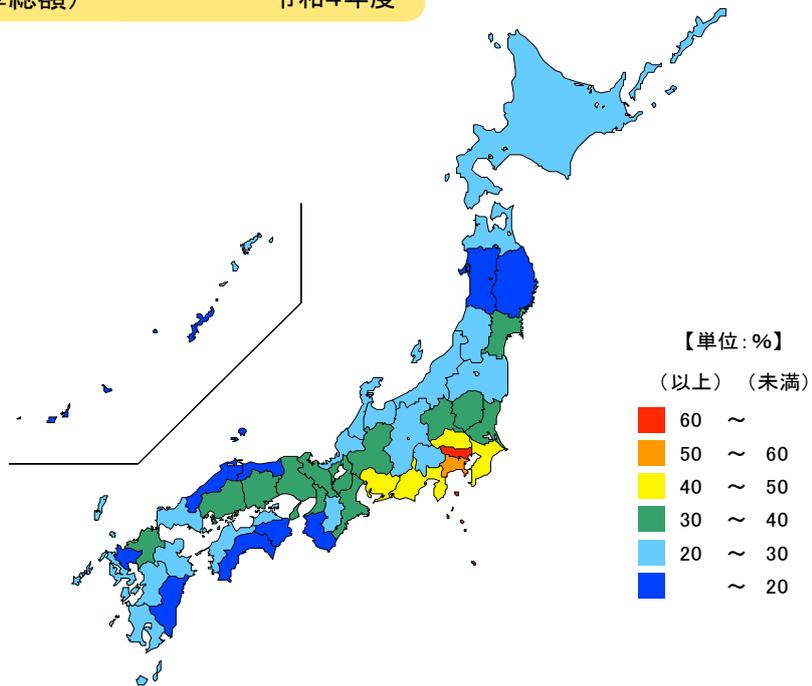
都道府県の平均及び市町平均は、加重平均による。

● 地方税割合(対歳入決算総額)

令和4年度

単位：%

都道府県	値	順位
平均	36.3	
東京都	63.4	1
神奈川県	52.4	2
愛知県	47.5	3
埼玉県	44.7	4
静岡県	42.1	5
三重県	34.4	9
和歌山県	18.8	43
徳島県	18.3	44
鳥取県	18.1	45
高知県	18.1	46
島根県	15.5	47

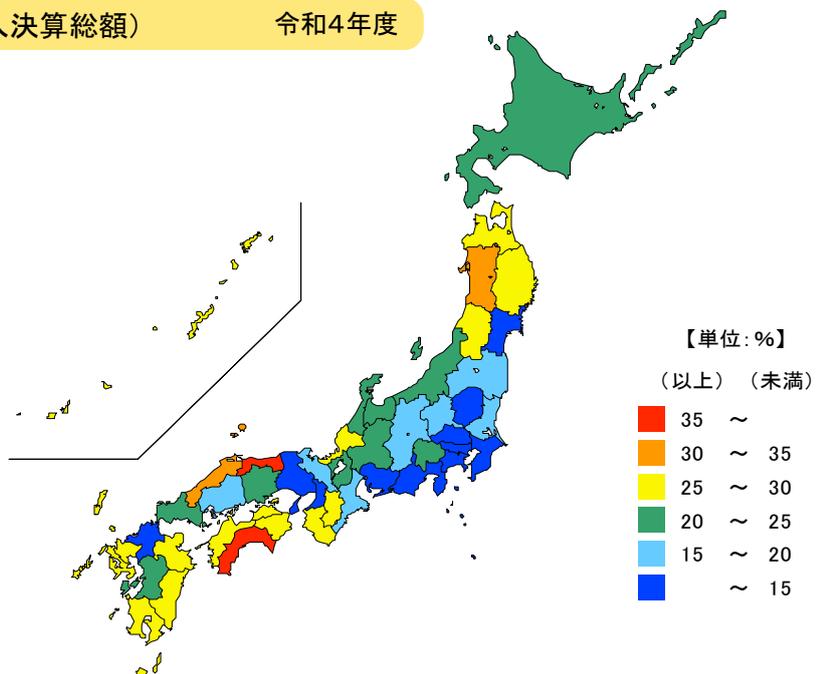


● 地方交付税割合(対歳入決算総額)

令和4年度

単位：%

都道府県	値	順位
平均	15.0	
高知県	37.4	1
鳥取県	36.8	2
島根県	32.2	3
秋田県	31.4	4
奈良県	29.8	5
三重県	18.8	30
千葉県	9.5	43
大阪府	7.9	44
神奈川県	5.6	45
愛知県	4.6	46
東京都	-	47



令和4年度の三重県の歳入決算総額に占める地方税割合は34.4%で、全国順位は9位となっており、地方交付税割合は18.8%で、全国順位は30位となっています。

【資料出所】 総務省「都道府県決算状況調」

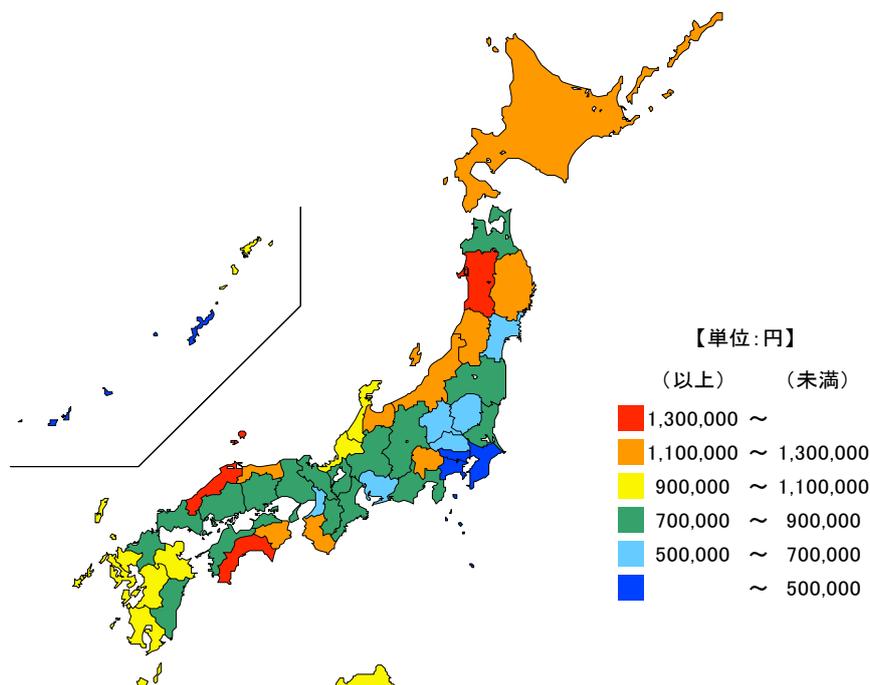
【算出方法】 地方税(地方交付税)歳入決算額÷歳入決算総額×100

● 地方債現在高(人口1人当たり)

令和4年度

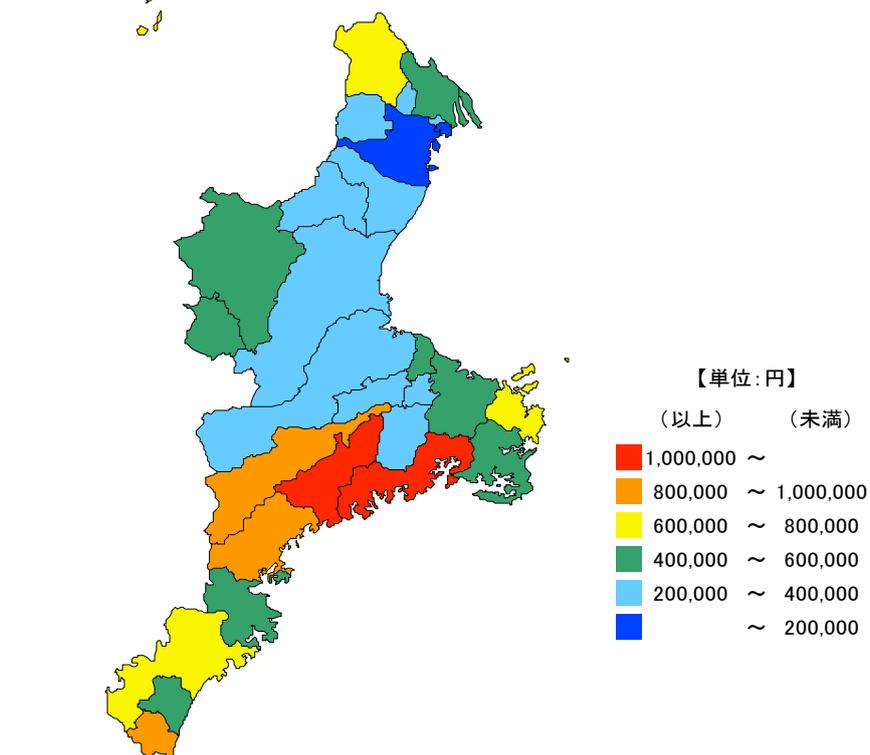
単位：円

都道府県	値	順位
平均	688,961	
島根県	1,346,498	1
秋田県	1,331,091	2
高知県	1,319,541	3
和歌山県	1,182,038	4
山梨県	1,143,798	5
三重県	837,209	24
埼玉県	518,974	43
千葉県	481,186	44
沖縄県	384,664	45
神奈川県	349,632	46
東京都	271,965	47



単位：円

市町	値	順位
南伊勢町	1,247,897	1
大紀町	1,183,163	2
紀北町	870,900	3
大台町	844,047	4
紀宝町	810,119	5
熊野市	739,898	6
鳥羽市	673,235	7
いなべ市	620,311	8
尾鷲市	580,649	9
伊賀市	568,835	10
木曾岬町	568,148	11
明和町	504,751	12
伊勢市	501,977	13
桑名市	479,208	14
御浜町	478,093	15
志摩市	439,422	16
名張市	436,136	17
多気町	398,194	18
朝日町	389,098	19
玉城町	377,031	20
津市	376,707	21
度会町	372,621	22
亀山市	320,231	23
松阪市	297,134	24
東員町	283,311	25
菰野町	256,581	26
鈴鹿市	242,275	27
四日市市	128,909	28
川越町	15,409	29



令和4年度の三重県の人口1人当たりの地方債現在高は83万7,209円で、全国順位は24位となっています。

県内市町の人口1人当たりの地方債現在高は、南伊勢町、大紀町が100万円以上と多く、川越町は1万円台と、特に少なくなっています。

【資料出所】

総務省「都道府県決算状況調」、「地方財政状況調査」
 全国・都道府県の総人口：総務省統計局「人口推計」
 三重県市町の総人口：三重県政策企画部統計課「推計人口」

【算出方法】

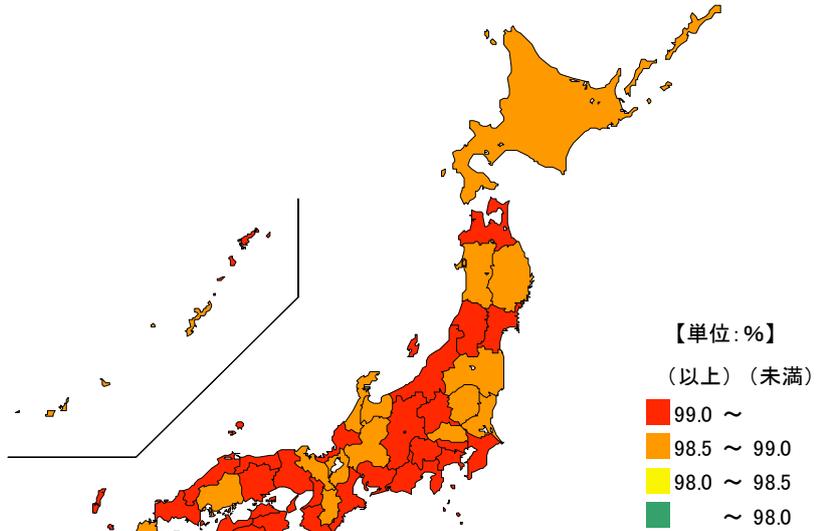
地方債現在高÷総人口

● 地方税徴収率

令和5年度

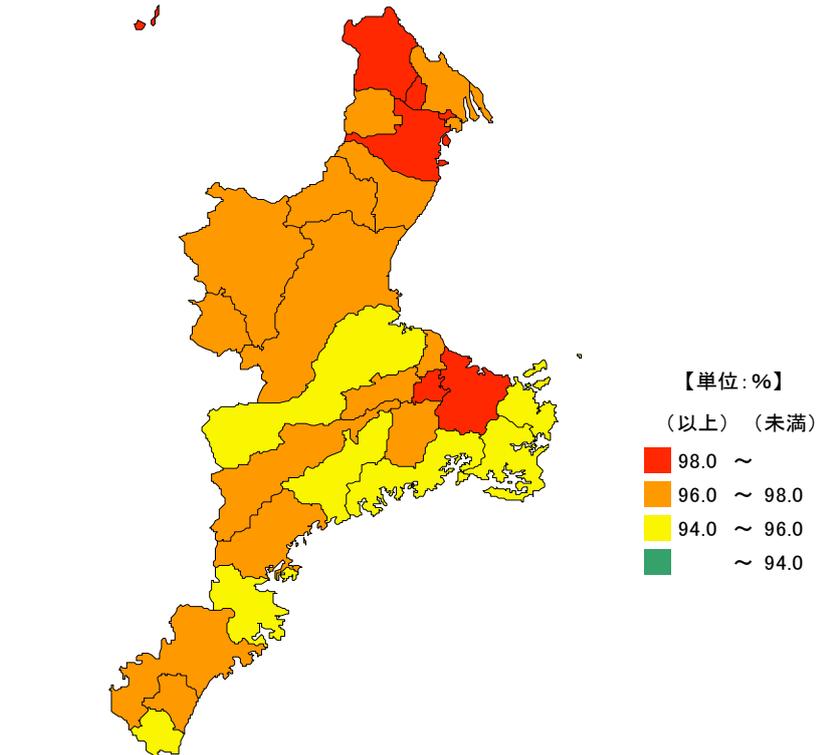
単位：％

都道府県	値	順位
合計	99.1	
島根県	99.5	1
大分県	99.4	2
新潟県	99.4	3
長野県	99.4	4
大阪府	99.4	5
三重県	99.1	22
富山県	98.6	43
滋賀県	98.6	44
奈良県	98.6	45
福島県	98.5	46
岐阜県	98.5	47



単位：％

市町	値	順位
東員町	99.2	1
玉城町	99.0	2
朝日町	98.7	3
いなべ市	98.7	4
伊勢市	98.6	5
四日市市	98.5	6
鈴鹿市	97.8	7
津市	97.8	8
桑名市	97.8	9
菰野町	97.7	10
木曾岬町	97.7	11
名張市	97.6	12
度会町	97.6	13
多気町	97.6	14
紀北町	97.4	15
亀山市	97.3	16
川越町	97.2	17
御浜町	97.1	18
伊賀市	97.0	19
熊野市	96.9	20
明和町	96.6	21
大台町	96.5	22
大紀町	95.7	23
松阪市	95.6	24
南伊勢町	95.6	25
尾鷲市	95.6	26
紀宝町	95.4	27
鳥羽市	94.6	28
志摩市	94.3	29



令和5年度の三重県の地方税（道府県税）の徴収率は99.1%で、全国順位は22位となっています。

県内市町の地方税（市町村税）の徴収率は、東員町、玉城町等が高く、志摩市、鳥羽市等が低くなっています。

【資料出所】

総務省「地方財政状況調査」

【算出方法】

収入済額 ÷ 調定済額（収入済額、調定済額ともに過年度の滞納繰越分を含む。）

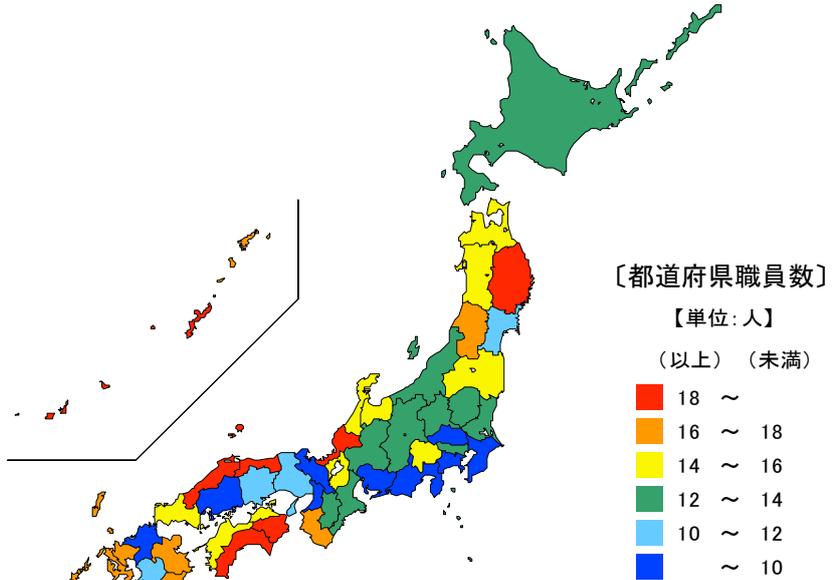
【備考】

道府県税は、地方消費税を含んだ額で算出。

● 都道府県及び市町の職員数(人口千人当たり) 令和5年4月1日

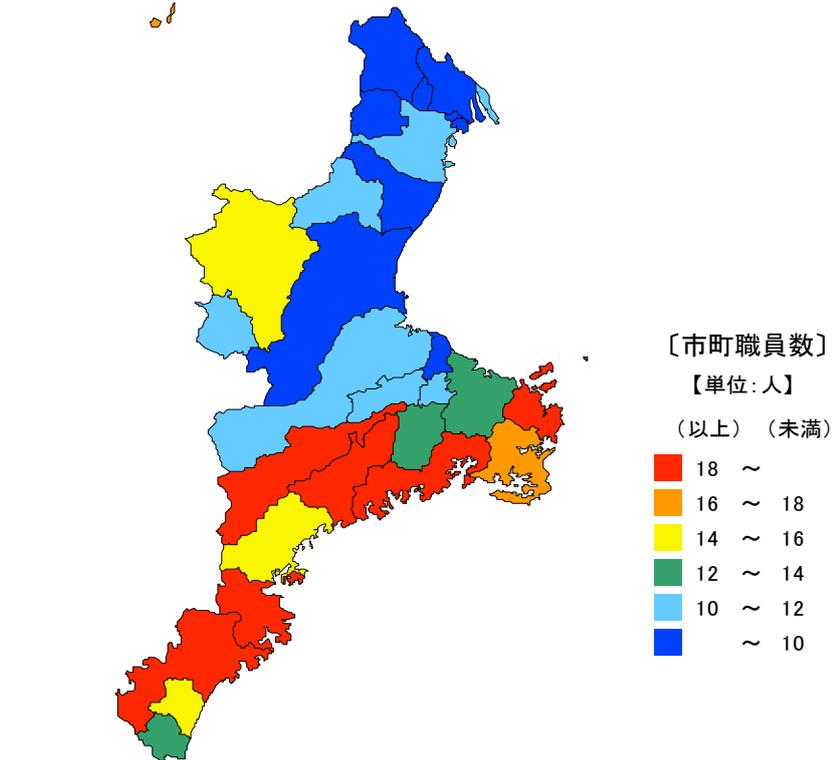
都道府県職員数 単位：人

都道府県	値	順位
平均	11.5	
島根県	22.4	1
鳥取県	22.1	2
岩手県	20.7	3
高知県	20.5	4
徳島県	19.3	5
三重県	13.6	25
愛知県	8.7	43
福岡県	8.7	44
大阪府	8.5	45
埼玉県	8.5	46
神奈川県	5.9	47



市町職員数 単位：人

市町	値	順位
南伊勢町	26.6	1
尾鷲市	25.7	2
大台町	20.1	3
鳥羽市	19.8	4
大紀町	18.3	5
熊野市	18.2	6
志摩市	17.8	7
御浜町	15.5	8
伊賀市	14.8	9
紀北町	14.0	10
伊勢市	12.8	11
度会町	12.7	12
紀宝町	12.4	13
玉城町	11.9	14
松阪市	11.9	15
亀山市	11.7	16
多気町	11.2	17
名張市	11.1	18
木曽岬町	11.1	19
四日市市	10.8	20
朝日町	9.8	21
津市	9.5	22
明和町	9.0	23
菰野町	9.0	24
東員町	8.7	25
川越町	8.2	26
いなべ市	8.1	27
桑名市	8.0	28
鈴鹿市	7.5	29
市町平均	11.0	



令和5年4月1日現在の三重県の人口千人当たりの県職員数は13.6人で、全国順位は25位となっています。

県内市町の人口千人当たりの市町職員数は、南伊勢町、尾鷲市、大台町の順に多く、鈴鹿市、桑名市等は少なくなっています。

【資料出所】

総務省「地方公共団体定員管理調査」
 全国・都道府県の総人口：総務省統計局「人口推計」
 三重県市町の総人口：三重県政策企画部統計課「推計人口」

【算出方法】

職員総数÷総人口×1,000